

入笠山コース案内図

入笠山では林道を外れ山林内をモーターバイクが走ることが原因による自然破壊が深刻な問題になっています。山林内は私有地のため土地を荒らす行為は罰せられることがありますので絶対にやめましょう。



360度の大パノラマ 入笠山山頂 夏から秋には牛がのびのびと歩き回る 入笠牧場
中央アルプス一望 鹿嶺高原 天下第一の桜 高遠城址公園

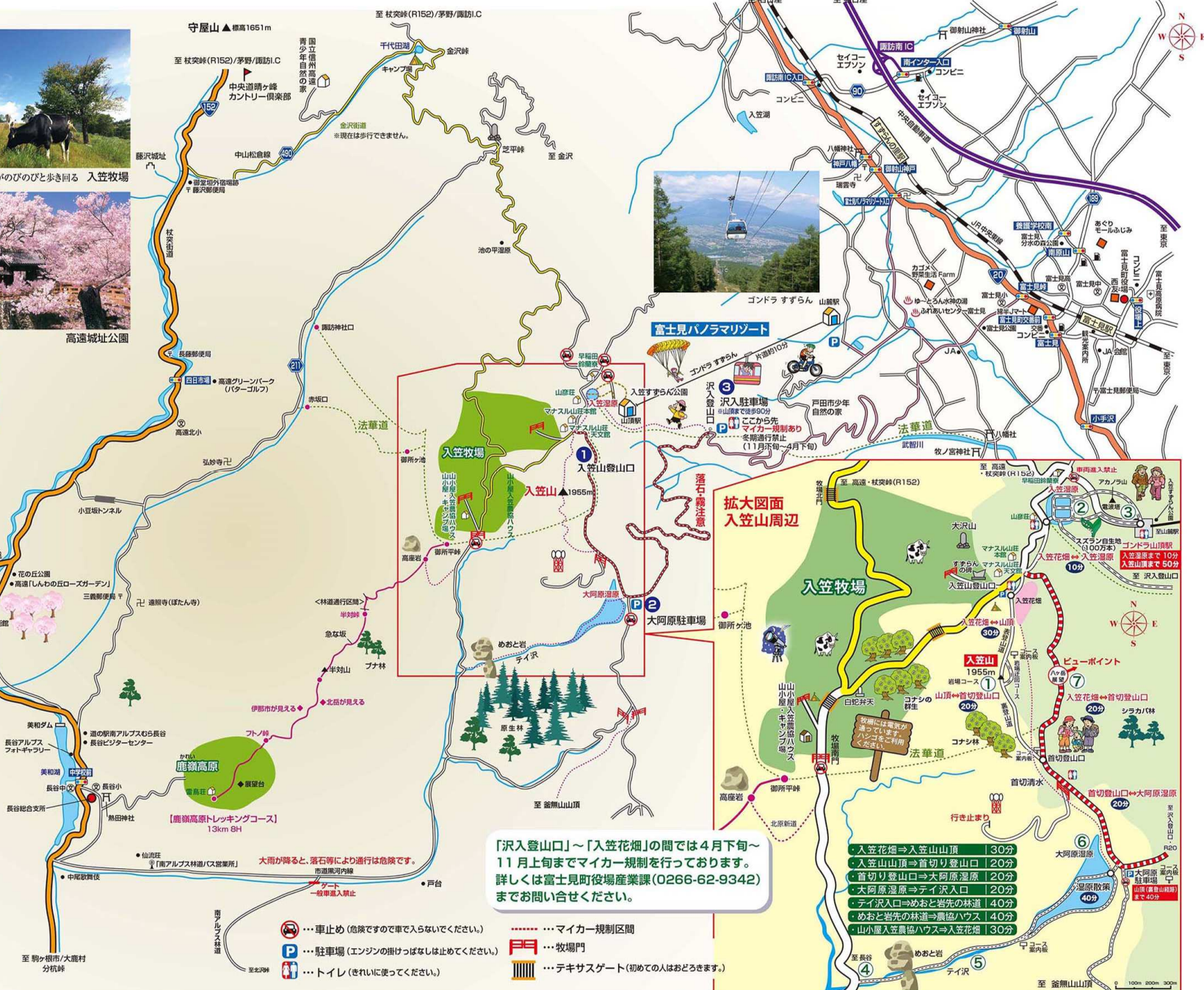
- ・入笠山一帯では、植物・昆虫・岩石の採取はご遠慮ください。
- ・環境保護のため、必ずゴミは持ち帰りましょう。
- ・また、アイドリングストップを心掛けましょう。
- ・入笠山付近は中・大型バスは通行できません。
- ・また路線バスはありません。

〔法華道〕
室町時代から日蓮宗の布教のために使われ、かつて人々の往来のあった道
※行程は諸説あります。
※現在は歩行できない箇所があります。

〔金沢街道〕
江戸時代に参勤交代や、塩・雑穀などの流通に使われた道
※現在は歩行できない箇所があります。

| 車での所要時間 | |
|---------|-------------------|
| 諏訪南IC | 約7分 富士見パノラマリゾート |
| 諏訪南IC | 約20分 沢入駐車場 |
| 諏訪南IC | 約35分 大阿原駐車場 |
| 諏訪南IC | 約40分 入笠山登山口 |
| 伊那IC | 約100分 入笠山登山口 |
| 諏訪IC | 入笠山登山口 (杖突峠経由) |

※左ページについては、方位・縮尺が歪んでいる部分があります。



「沢入登山口」～「入笠花畑」の間は4月下旬～11月上旬までマイカー規制を行っております。詳しくは富士見町役場産業課(0266-62-9342)までお問い合わせください。

| ルート | 所要時間 |
|-----------------|------|
| 入笠花畑→入笠山山頂 | 30分 |
| 入笠山山頂→首切り登山口 | 20分 |
| 首切り登山口→大阿原湿原 | 20分 |
| 大阿原湿原→テイ沢入口 | 20分 |
| テイ沢入口→めおと岩先の林道 | 40分 |
| めおと岩先の林道→農協ハウス | 40分 |
| 山小屋入笠農協ハウス→入笠花畑 | 30分 |

南アルプス(中央構造線)ジオパーク

～大地と歴史の物語～

南アルプスの北端に位置する入笠山は、南アルプス(中央構造線エリア)ジオパークに認定(平成20年12月8日)されています。南アルプスはそのほとんどが大昔に海底に堆積した地層から成り、約200万年ほど前から急速に隆起し始め、3,000m級の山々が連なる急峻な山岳です。日本列島が東西から押し締められる地殻変動で、現在でも世界的にも稀な速さ(年間4mm以上)で隆起する一方、たくさんの雨が川となり深い谷を削り続けています。ジオパークとは、ジオ(地球)に楽しみ、ジオを学び、ジオツーリズムを楽しむ場所です。入笠山周辺にも悠久からの地殻変動により形成された地形や地質など大地の遺産をみることができるジオサイトがあります。ジオサイトでは、雄大な景観を楽しみ、地形や地質(岩石・地層)に刻まれている大地の記録を発見しながら散策をしましょう。

① 入笠山山頂

標高1,955mの入笠山山頂に登れば甲斐駒ヶ岳や鳳凰三山といった南アルプスの山々をはじめ、北アルプス、中央アルプス、諏訪湖、八ヶ岳、富士山など360度の大パノラマが楽しめる。入笠山山頂の緑色岩には、暗緑色の斑点があり、中には脈状になっている部分もみられるが、これはクリノクロア(斜緑泥石)の結晶の集合で、山頂付近の緑色岩の特徴となっている。

② 入笠湿原

入笠山麓の標高1,730mに位置する約1.85haの湿原。春から秋にかけて百数十種類の様々な山野草が咲き誇り、日本すずらの群生地でもある。この湿原を支える水源は豊富で枯れたことが無いといわれている。地質は秩父帯に属しており、湿原内に点在する岩塊はチャート。

③ アカノラ山緑色岩露頭

ゴンドラ山頂駅のあるアカノラ山は緑色岩でできた山である。アカノラの由来は、野良(仕事)にいく赤い山とされているが、これは緑色岩が風化によって、表面の鉄分などの酸化により赤褐色に見えることからついたものと考えられる。現在はカラマツが植林されているが、昔は赤い山容であったとのこと。南面の緑色岩露頭は比較的新しいことから、岩肌の緑色がよくわかる。

④ 戸台層小黒川露頭

古くからトリゴニア(三角貝)の化石が発見されることで知られる戸台層の礫質砂岩が見られる露頭。テイ沢が小黒川に合流する付近にある。戸台層は中生代白亜紀(約1億2千万年前)の比較的浅い海底で堆積した地層が、長い間の地殻変動で隆起したものと考えられている。



⑤ ティ沢

大阿原湿原を源流とし、手つかずの自然林や可憐な草花、岩に付着したコケと清流が美しい。川沿いに進めば、チャートや石灰岩、堆積岩類などを観察することができる。テイ沢の「ティ」は、もともと「梯」だったともいわれており、渡るにはいくつもの梯子が必要な沢の流れを形づけている。チャートは侵食に強いので、急峻な地形をつくりやすい。

⑥ 大阿原湿原

入笠山の南方、標高1,810mに広がる約12haの高層湿原。湿原としては日本を横断するフォッサマグナ西縁の糸魚川-静岡構造線が走り、八ヶ岳からの亜碓氷断層の痕跡や、富士川水系と天竜川水系を分ける分水界などを地形から確認することができる。入笠山側に目を向けると緑色岩の大露頭があり、緑色岩の模式地として古くから知られていた。



⑦ ビューポイント

入笠山山頂の直下に位置し、山頂に次ぐ八ヶ岳の眺望ポイント。眼下には日本を横断するフォッサマグナ西縁の糸魚川-静岡構造線が走り、八ヶ岳からの亜碓氷断層の痕跡や、富士川水系と天竜川水系を分ける分水界などを地形から確認することができる。入笠山側に目を向けると緑色岩の大露頭があり、緑色岩の模式地として古くから知られていた。

